

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	評価指標	<評価の根拠> 達成度判断基準	取組状況	評価	成果と課題
1 組織的な学校運営	①【組織的な学校運営】 教職員が組織の一員として参画し、若手育成とキャリアアップに努め、組織の力が生きる学校づくりを進める。(関わる)	教頭	学年会、校務委員会、校内研修会、ミニ研修会を計画的に実施し若手育成とキャリアアップを図っている。	<教職員アンケート> A: +評価95%~ B: 85%~ C: 75%~ D: 75%未満	プラス評価 85%	B	計画的により実践的、効果的な研修を実施し、全職員の資質能力の向上を進めていく。
	②【いじめ・不登校等の未然防止】 職員全員で児童理解、問題の早期発見に努め、専門スタッフと連携し早期対応を図る。(気づく)	教頭	常に、「気づく」意識をもち、報告・連絡・相談に努めている。	<教職員アンケート> A: +評価95%~ B: 85%~ C: 75%~ D: 75%未満	プラス評価 100%	A	組織的な対応ができています。関連機関等との連携を密に対応を進める。
	③【働き方改革の推進】 ライフワークバランスやタイムマネジメントへの意識を高め、専門スタッフとの協働により業務改善に取り組み時間外勤務削減を図る。(つながる)	教頭	毎週水曜日の「ライフワークバランスデー」の取組を通して、時間外勤務時間が月80時間を超える教職員ゼロをめざす。	<勤務時間集計> A: ゼロ B: 1~2人 C: 3~4人 D: 5人以上	1学期 4人 4月 1名 5月 3名	C	時間的な削減は進んでいる。より業務の精選や削減を図りながら、働き改革の意識を徹底する。
2 知(ラストまでがんばる子)	①【主体的対話的な深い学び】 算数科を中心とした授業研究の中で、主体的対話的な深い学びをめざし、教師の授業力向上をすすめる。	研究	寺井小授業スタイルの実践を自分の授業に取り入れ、特に学び合いの場面とふりかえりの充実を図る。	<児童ふりかえりアンケート> A: +評価90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	児童アンケート プラス評価 81.5%	B	授業力向上を目指して、児童の学びの充実につながる研究授業などを行ってきた。「深い学び」に重点をおいた研修などを今後充実させていく。
	②【基礎基本の確実な定着】 はくれないタイム等を充実させ基礎基本の定着を図る。	主幹	学期末の漢字・計算テストで、クラス平均90点以上を目標に取り組む。(漢字まとめテストは練習なしの点数)	<期末漢字計算テスト> A: 90点~ B: 80点~ C: 70点~ D: 70点未満	漢字87点 計算90点	B	継続した指導の成果もあり基礎的な学力はついてきた。学力調査で分析し、共有したことを学校全体で実践していく。
	③【家庭学習の習慣化】 学習の手引等で家庭と連携し、家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。	主幹	自学ノート学年目標冊数を達成する。前(34年1冊、56年2冊)後(1年1冊、2年2冊、34年3冊、56年4冊)	<自学ノート達成率> A: 90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	前期達成率 98%	A	どの学年も目標冊数を達成している児童がほとんどである。今後は内容の充実をめざし、良いノートを広めていく。
	④【読書活動の推進】 学校や家庭での読書を積極的に勧め、個人の読書力を高める。	図書	年間の標準読書冊数(低:60、中:50、高40冊)を達成する。	<標準読書冊数達成率> A: 90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	達成率23.8%	D	10月より図書館の利用が可能になる。図書館を活用を全校で進め、読書に親しむ時間を充実させていく。
3 徳(手をつなぎ助け合う子)	①【生徒指導の3機能】 全職員で全児童を育てるという意識の下、生徒指導の3機能を生かした積極的な指導を行う。	生徒指導	いじめがなく安心安全な学校生活を送り、「学校生活は楽しい」と感じている児童を増やしていく。	<児童アンケート> A: +評価90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	プラス評価 93%	A	学校が楽しいと感じられるような学級経営を各担任がすることができている。組織的で積極的な生徒指導を今後もしていく。
	②【張りのあるあいさつ】 学校・家庭・地域が連携し、明るく張りのあるあいさつができ、自他を大切にしている児童の育成を図る。	生徒指導	学校・家庭・地域において普段から挨拶をし、自他を大切にしている児童の育成を図る。	<児・保・教アンケート> A: +評価90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	プラス評価 児童90% 保護者88% 教師90%	B	あいさつの取り組み時はあいさつができるようになるが普段からが難しい。あいさつの良さを広めていく。
	③【道徳教育の充実】 道徳の時間を充実させ、全教育活動を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。	道徳推進	道徳の授業を年間1回以上、保護者や地域の方に公開する。	<道徳授業の公開> A: 全学級 B: ~18学級 C: ~15学級 D: 15学級未満	1学期末 11学級実施	C	授業参観での授業公開を1回以上行うとともに、授業改善に向けて校内研修会を行っている。
4 体(命を大切に する子)	①【体力の向上】 各種検定や体力テスト等を活用し、児童の運動への意欲を高め、児童の体力向上を図る。	保健主事	各種検定やスポチャレ等の取り組みにおいて、段階的な指導を行い、児童の伸びを自覚させ、意欲づけにつなげる。	<児童アンケート> A: +評価70%~ B: 60%~ C: 55%~ D: 50%未満	児童アンケート プラス評価 89%	A	各種検定の取り組みをさらに進め、児童の意欲を高めていきたい。また、段階的な指導を学校で共有して行けるようにしていく。
	②【健康な体づくり】 家庭と協力し、むし歯治療率の向上を図り、健康な体づくりへの意識を高める。	保健主事	むし歯治療率を元に、保護者の健康な体づくりの意識を高める。	<むし歯治療率> A: 85%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	虫歯治療状況 61.7%	D	夏休み後の治療率はもう少し上がっている。今後も学級懇談会などで、保護者に虫歯の治療を進めていく。
5 家庭・地域との連携協働	①【基本的生活習慣の確立】 TVやゲームの時間を減らし、早く寝て規則正しく生活する児童の育成を図る。	生徒指導	家庭でのテレビやゲームの時間を以前より減らし早く寝るなど規則正しい生活ができている。	<児・保アンケート> A: +評価90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	児童就寝83% ネット84% 保護者就寝88% ネット87%	B	継続的にゲーム・ネットコントロール週間に取り組みながら、全職員で声をかけていく。
	②【開かれた学校づくり】 学校教育活動を家庭や地域に積極的に公開し、開かれた学校づくりに努める。	教頭	学校だよりやホームページなどで、教育方針や教育活動を積極的に保護者に伝えている。	<保・教アンケート> A: +評価90%~ B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満	保護者 97% 教師 97%	A	定期的に各種便りやホームページなどで学校の様子を継続的に伝えていく。